



かけこ通信

令和4年度第3号
令和4年7月20日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

掛合町内保・小・中・高が連携して「ごみゼロ大作戦」を行いました

6月16日（木）、掛合町内保・小・中・高が連携して地域の清掃活動等を行う「ごみゼロ大作戦」を行いました。この日は、児童・生徒が町内各地区に分かれ、清掃活動や交流活動を行いました。

このうち掛合地区では、狭長（さなが）神社の清掃活動の他、今年度新たな取り組みとして、避難所運営ゲーム「HUG」を行いました。

「HUG」とは、地震や豪雨など大規模災害時の応急対策活動の場面を想定して、グループのメンバーでコミュニケーションを取りながら、

平面図上で避難所運営を疑似体験するシミュレーションゲーム

です。掛合中学校に集合した児童・生徒は6つのグループに分かれ、それぞれ大人たちとの意思疎通を図りながら、ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができました。その他の地区においても、清掃活動後にジャンケンゲームで楽しむなど、児童・生徒、地区の住民の方との交流を深めることができました。



2年生の地元ブランド米販売促進プロジェクト進行中！

6月17日（金）、今年度2年生が取り組んでいる、雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米（ほむらまい）」販売促進のためのキャンペーン企画を考える学習を行いました。この日は、

有限会社アエラ地域文化デザイン室の影山邦人様、安田陽子様をゲストティーチャーとしてお招きし、「たたら焔米をめっちゃ食べてみたくなるPRキャンペーンを考えよう！」と題した学習活動を行いました。プロのデザイナーの視点で様々なアドバイスをいただき、生徒は、キャンペーン名やキャッチコピーなどのイメージをますます膨らませているようでした。

また6月22日（水）、宇山営農組合（雲南市吉田町）の藤井章組合長と須山光雄副組合長をお招きし、お米の特徴や米作りの工夫、宇山地区農家の方の米作りに対するこだわりや熱い思いをインタビュー形式で学ぶ学習活動を行いました。今後は、チームに分かれて販売促進プランを考え、9月の稲刈り体験学習に合わせて農家の方に中間発表した後、11月4日・5日の掛合分校文化祭や、同月に道の駅等でお米の特別販売会を行う予定です。



3年生を対象に就職ガイダンスを行いました

7月1日（金）、外部から専門の講師をお招きし、3年生を対象に就職ガイダンスを行いました。この日は、高校新卒者の就職環境や社会に出て仕事をするにあたっての心構えなどの基礎的な知識を学んだ後、グループディスカッションや自己紹介文の作成などの演習を行いました。午後は、実際に集団面接を受ける場面を想定し、模擬面接とその評価を相互に行い、最後にその振り返りを行いました。就職・進学に向けた活動の本格始動にあたって、自分自身を振り返り、今後の取り組みへの準備を行う大変よい機会となりました。



3年生が林業体験学習を行いました

7月13日（水）、島根県中山間地域研究センターと島根県立農林大学校林業科（いずれも飯石郡飯南町）において、3年生が林業体験学習を行いました。この学習は、島根県農林水産部が行っている「高校生の林業教育推進事業」に掛合分校が申し込むことによって実現した企画です。

この日は、同センターの広大な敷地内にある研究施設等を見学した後、薬用効果があるとして注目されている「クロモジ茶」の煮出しと試飲を行いました。その後、研究員の方からの講義を受け、中山間地域における持続可能な自然環境保全や創造的活動について、その現状と課題を知ることができました。また、午後からは、農林大学校の学生さんたちのご指導により、ドローンの操作実習や丸太の切り出し



体験、重機の運転実習を行いました。VRを使った重機の運転演習など、島根県が誇る最先端の機器に触れることができ、島根県の農林業の先進性を肌身で感じる事ができたようでした。

「先輩は語る」 ～掛高卒業生から後輩へのメッセージ～

7月15日（金）、令和2年度に卒業した4名の卒業生をお迎えし、就職・進学後の現在の状況などについてお話をうかがいました。この企画は、毎年度2回行っており、第1回目となる今回は、2名ずつ2会場に分かれ、それぞれ在校生からの質問に答えながら進めていくトーク形式で行いました。卒業生からは、就職・進学後の苦労話や高校生と社会人との違いなど具体的なエピソードを交えながら語っていただきました。在校生からは「上司とのコミュニケーションで気をつけていることは何か」「就職後の職場内訓練はどのようなことを行うのか」などたくさん質問があり、それらの質問に丁寧に答えていただきました。就職・進学2年目を迎える卒業生の生の声を聞くことができ、生徒たちは自身の進路について身近に考えるきっかけとなったようでした。

